

脳ドックについて

脳ドックの目的

無症候の人を対象にMRI/MRAによる画像検査を中心として、脳・脳血管疾患、危険因子を発見して発症・進行を防止することを目的としています。特にくも膜下出血の原因となる動脈瘤を、破裂する前に発見、治療することが可能です。くも膜下出血を起こした場合、50%以上が死亡又は重篤な後遺症を残します。

脳ドックを受けてみませんか

脳の病気は突然発症して一瞬のうちに生命を奪ったり、言語障害や麻痺などの重い後遺症を残すことが少なくありません。脳ドックの検査では、特に症状のみられないまま進行する脳の病気の発見に優れた成果をあげています。

MRI/MRAは磁気を利用した検査のため、放射線被曝の心配がありません。

(MRI：磁場を利用した脳病変の診断方法。)

(MRA：磁場を利用した脳の血管の診断方法。通常、造影剤は必要としません。)



脳神経外科医 中村 征郎

脳ドックで何がわかるの？

自覚症状のない脳梗塞(無症候性脳梗塞)をはじめ、大脳白質病変、脳微小出血、脳腫瘍、未破裂動脈瘤、脳動静脈奇形などがないか、現在の脳の状態をお調べします。

※無症候性脳梗塞、大脳白質病変、脳微小出血は脳卒中のハイリスク因子と言われています。

こんな方におすすめ

- ・脳卒中など、脳血管の病気が心配
- ・血縁者に脳卒中になった人がいる
- ・高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肥満などがある
- ・喫煙、多量飲酒、運動不足などの生活習慣
- ・慢性の頭痛または一過性の激しい頭痛
- ・手足のしびれ、顔面の麻痺がある
- ・40歳以上で、一度も脳の検査をしたことがない



脳ドックで何らかの異常を指摘されても、多くの場合は経過観察です。脳ドックで異常の見つかった人は1年に1回、幸いにして異常が見つからなくても、40歳を過ぎたら数年に1回は脳の状態をチェックすることをお勧めします。一度、脳ドックを受診されてみてはいかがでしょうか。

『公開講座のご報告』



5月13日(土)に公開講座を行いました。

18回目を数える今回はアンケートでも聞きたいとの声が多かった「健康寿命」「認知症」「ひざの痛み」について講演させていただきました。当日は公開講座に私が関わらせていただくようになってから初めての大雨・・・にもかかわらず155名の地域の方にご参加いただきました。転倒危険度測定、看護師・薬剤師・介護専門職員による無料相談会、講演、講演の中の寸劇、理学療法士によるリハビリ体操と盛りだくさんの内容に、雨にも負けず30分歩いた甲斐があったとの声もいただき、感謝、感謝です。ご協力いただきました、川口市戸塚保健ステーション保健師の原様、ケアパートナー川口センター長のコルクット様、小川先生、運営スタッフの皆さま、ありがとうございました。

今後も地域で安心して暮らしていくために微力ながらこのような活動を継続していきたいと思います。次回の公開講座は9月9日(土)戸塚公民館にて予定しております。

連携室 長島



『その人らしく過ごせる看護』

厚生労働省より、認知症を患う人の数が2025年には700万人を超えるとの推計値が発表されています。これは、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算となります。

当病院にも認知症の患者さんが入院されることが多々あります。認知症の方は環境が変化することや、鳴れない治療により、認知症の周辺症状が出てしまうことがあります。不安や恐怖心からケアの拒否や治療に拒否がみられることもあります。そのため私たち看護師は認知症の方が安全に、またその人らしく入院生活を送ることができるよう、日々取り組んでいます。

認知症の方に限ったことではないですが、入院される皆さまの「その人らしさ」を守り、日々の看護に努めていきたいと思っています。



看護部 井出

『第29回みどりの地球号in 安行』

5月5日(金)、「第29回みどりの地球号in 安行」に協力兼救護班として参加してきました! 当院のブースでは血圧測定と栄養相談を行い、当日は天候もよくイベントに大勢のご来場がありましたので、最終的に約70名の方にお立ち寄りいただきました。血圧測定や栄養相談以外にも健康相談をされていく方も多くいて、皆様ご自分の健康管理に気を使われておりました。

地域の皆様との交流ができて大変有意義な時間を過ごすことができました。

総務課 古橋



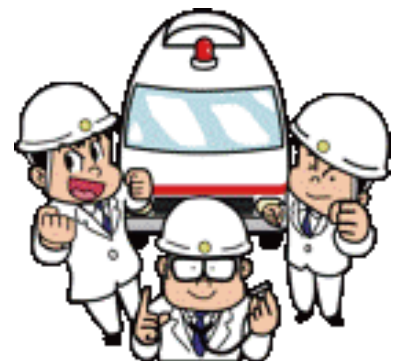
『救急症例検討会』

当院では数年前より、地域の救急医療により貢献するため、救急隊の方々と情報交換・連携強化を目的とした「救急症例検討会」を開催しています。今回は5月26日(金)に、川口市消防局救急課の方々をお招きし、第6回目の救急症例検討会を行いました。

今回は整形外科の症例について、救急要請から病院搬送までの経過を救急隊の救急救命士の方より発表していただき、病院搬送後から治療までの経過を当院整形外科医師より発表させていただきました。また、当院整形外科の大腿骨近位部骨折について、治療報告も行いました。

普段の診療では、救急隊の方から傷病者の搬送までの経過をじっくり伺う機会はなかなかありません。また、救急隊の方も、搬送後に傷病者がどのような治療を受け、経過を経るかわからない事が多いとのことです。病院・救急隊がお互いに情報を共有することで、よりスムーズな救急対応ができるよう継続して取り組んでいきます。

医事課 鈴木





東川口病院理念



皆さんに愛し愛される病院となること

理念の実行方法

- 1.適切な医療を实践、提供し、患者様の健康のサポーターになります。
- 2.近隣医療機関と連携を密にとります。
- 3.働き甲斐のある職場を皆でつくります。
- 4.人材の育成の機会をつくり、活気のある病院になります。
- 5.健全経営を維持し、継続して良質な医療を提供できるようにします。



東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前 (8:00~12:30) 午後 (13:00~17:15) 平成29年07月12日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
神経内科	午前					11:00受付終了 ○	
もの忘れ外来	14:00~16:30			○			
循環器科	午前	○	(予約制) ○	11:30受付終了 ○	○		
	午後		(予約制) ○		○	14:30から診療 ○	
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症外来 (予約制)	15:00~16:30					○	
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	9:30から診療 ○
	午後		○	○		○	
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後			○			
皮膚科	午前		○		○		
	午後	○		○	○	○	
泌尿器科	午前				○		
	午後				○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	16:45受付終了 ○	15:00から診療 ○		第4週 15:00から診療 ○	15:00から診療 ○	
	予防接種 (予約制)		14:00~15:00 予防接種	14:00~17:15 予防接種		14:00~15:00 予防接種	
耳鼻咽喉科	午前	○	○		○	○	○
	午後	○	○		○	○	

☆救急対応、緊急手術等やむを得ず診療時間変更となる場合がございます。
 ☆お電話での診療予約、お薬のご依頼はお受けしておりません。
 ☆各診療科の担当医師については病院ホームページを閲覧していただくか、総合案内までお問い合わせください。
 ☆その他ご不明な点等につきましては総合案内までお問い合わせください。

地域活動委員会から一言

七夕の飾りが風に揺れて嬉しそうです。皆様いかがお過ごしでしょうか。
 最近どんどん暑さが増えてきて、猛暑の足音が聞こえてくるようです。この時期になると気を付けたいのが熱中症。特に寝ているとき知らず知らずのうちに脱水になっているケースが増えているようです。是非、寝る前にコップ一杯の水を飲む習慣をつけて夏を元気に乗り切りましょう。

地域活動委員会 後藤



上尾中央医科グループ
医療法人社協友会 東川口病院

内科・神経内科・消化器内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・小児科
皮膚科・耳鼻咽喉科・循環器科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科

携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!
 当院Facebookもあります! 是非ご利用ください。

〒333-0801
 埼玉県川口市東川口2-10-8
 TEL:048-295-1000
 FAX:048-295-5501
<http://www.e-kawaguchi-hp.jp>



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・埼玉高速鉄道(南北線直通) 東川口駅下車 徒歩5分

